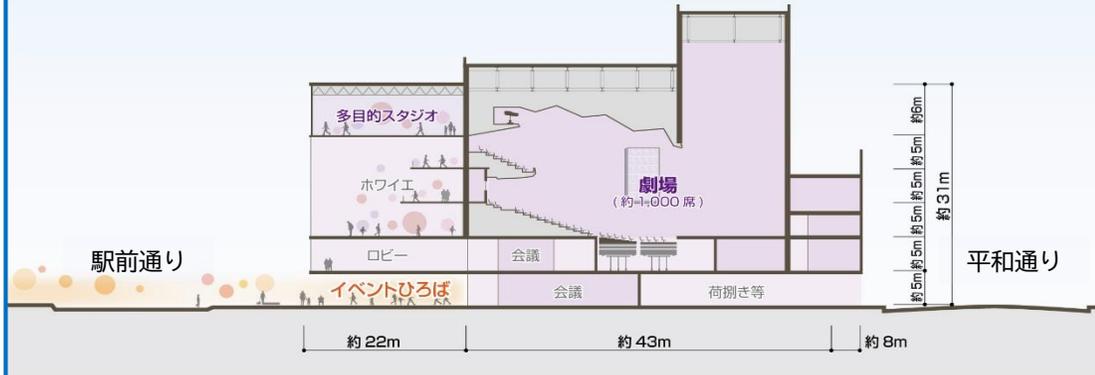
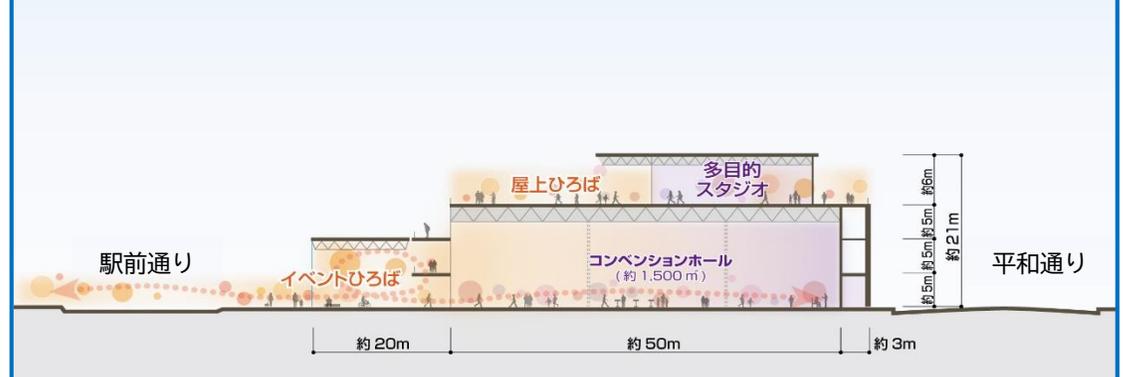


■ 劇場ホール単独案 (A案) イメージ (公共棟の延床面積: 約16,000㎡)



A-A' 断面イメージ

■ コンベンションホール単独案 (B案) イメージ (公共棟の延床面積: 約10,000㎡)



A-A' 断面イメージ



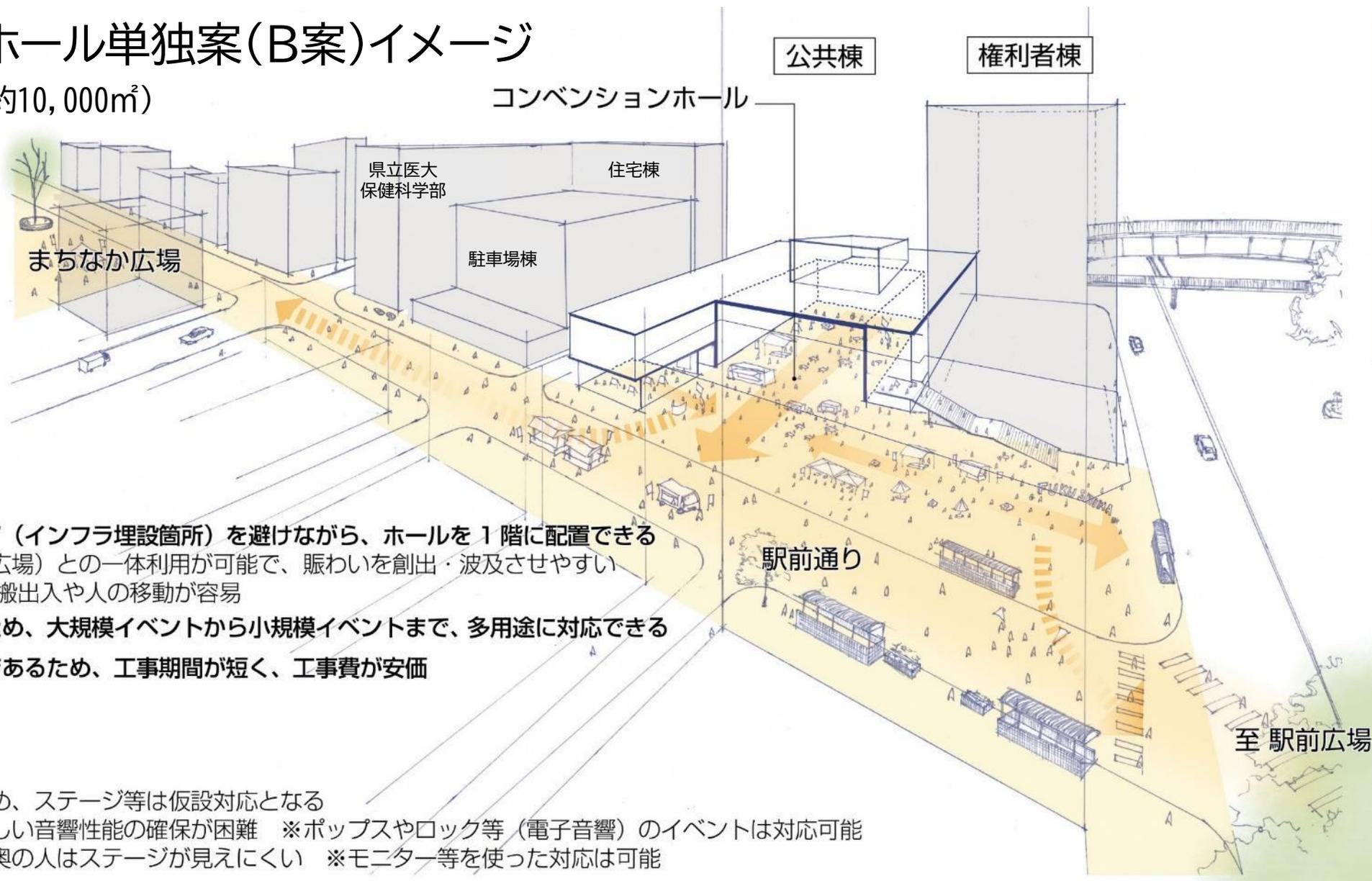
平面イメージ



平面イメージ

■コンベンションホール単独案(B案)イメージ

(公共棟の延床面積：約10,000㎡)



メリット

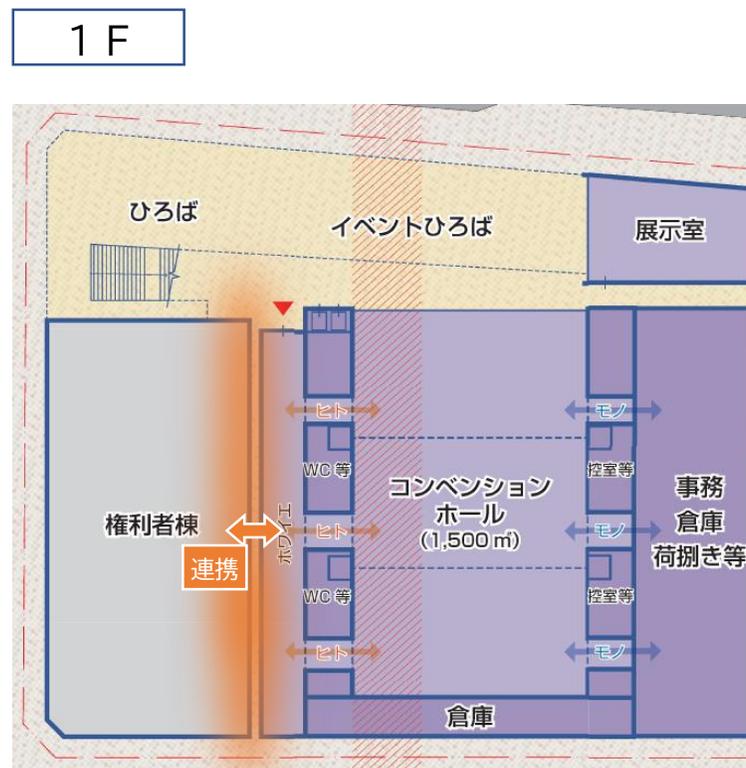
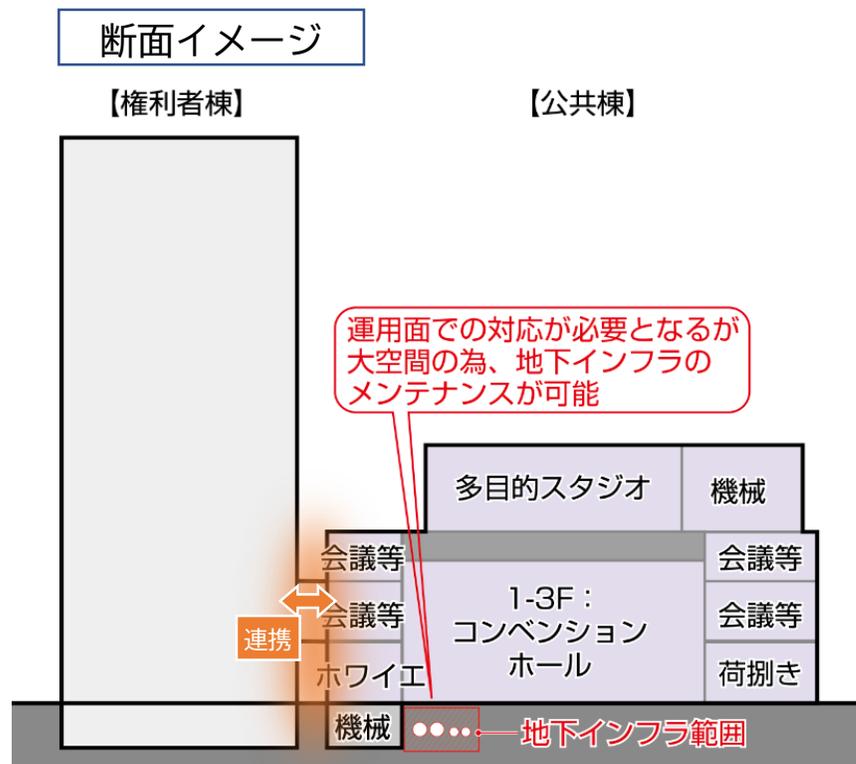
- 舞台装置等が不要なため、
構造物をつくれないエリア（インフラ埋設箇所）を避けながら、ホールを1階に配置できる
- ・ホールと屋外（駅前通り、広場）との一体利用が可能で、賑わいを創出・波及させやすい
- ・ホールが1階にあるため、搬出入や人の移動が容易
- ホールを分割利用できるため、大規模イベントから小規模イベントまで、多用途に対応できる
- ホールの構造がシンプルであるため、工事期間が短く、工事費が安価

デメリット

- 劇場機能がA案より劣る
- ・常設の舞台を設置しないため、ステージ等は仮設対応となる
- ・クラシック音楽等にふさわしい音響性能の確保が困難 ※ポップスやロック等（電子音響）のイベントは対応可能
- ・段床の客席ではないため、奥の人はステージが見えにくい ※モニター等を使った対応は可能

※A案は劇場ホール単独案

コンベンションホール単独案（B案）各階イメージ①（第1回検討会資料より） 参考資料2-3



<施設イメージ>

- ・地下1階～地上4階
- ・延床面積 約1万㎡
うちホール 約1,500㎡（平土間式）
（ホール内で最大1,500人規模の催事が可能）

<催事イメージ>

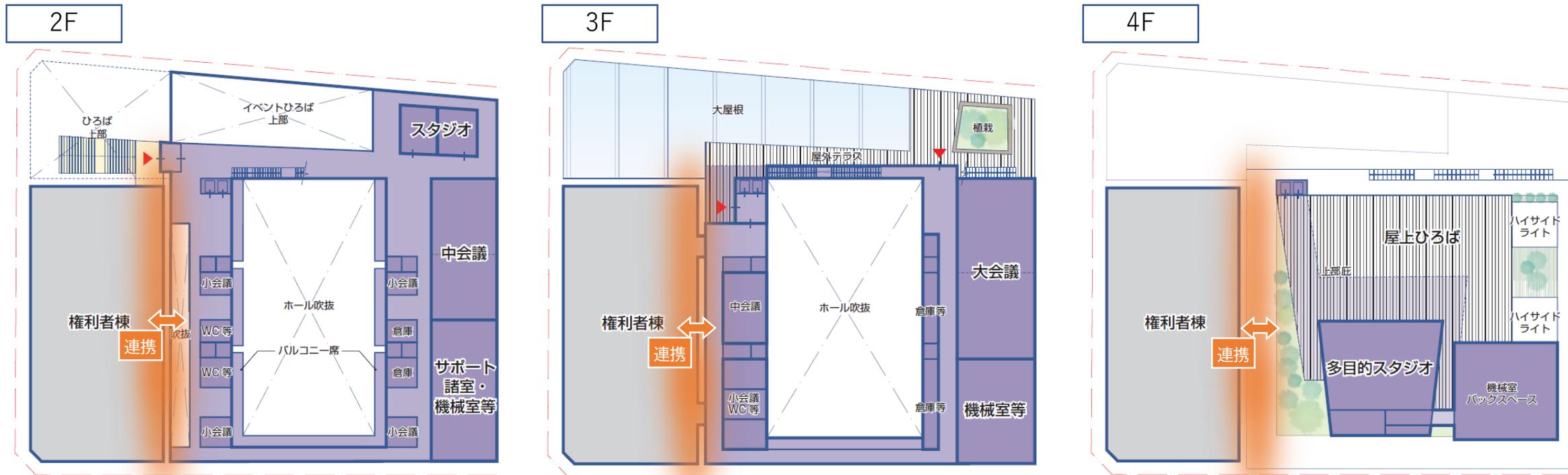
- ・フェスタ・物産フェア、展示・エンタメ等各種興行イベント、大会や学会等のコンベンション、ロックやポップス等の音楽ライブなど
- ・駅前通りや広場と連続したホールの活用（わらじまつり、ホコ天イベントとの連動）

<再開発事業全体の概算工事費>

- ・約290～340億円（仮の工事費単価や想定面積による仮試算のため変動の可能性あり）

※事業計画認可時：361億円 ⇒ 工事費高騰：479億円 ⇒ コスト縮減等検討後：454億円

コンベンションホール単独案（約1,500㎡）



[メリット]

- ・ 舞台装置等が不要なため、構造物をつくれないうエリア（インフラ埋設箇所）を避けながら1階にホールを配置できる
- ・ ホールが1階にあるため、搬出入や人の移動が容易
- ・ ホールと屋外（駅前通り・広場）の一体利用が可能
- ・ ホールの分割利用が可能
- ・ ホールの構造がシンプルなため工事費を抑制できる
- ・ A案より設計・工事期間等が短縮され、1年程度開館が早まる

[デメリット]

- ・ 常設の舞台等は整備しないため、ステージ等は主催者の持ち込み設置が必要
- ・ 音響反射板などの舞台設備がないため、クラシック音楽（生音）等にふさわしい音響性能（残響時間等）は確保が困難
- ・ 段床の座席でないため、奥の人はステージが見えにくい（移動観覧席やモニター等での対処は可能）